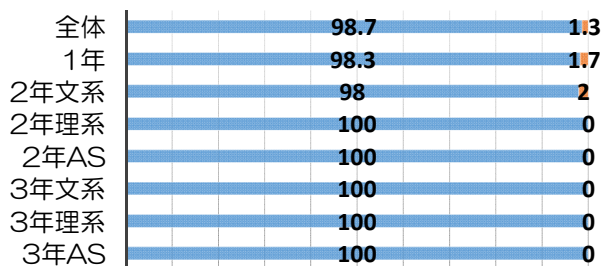


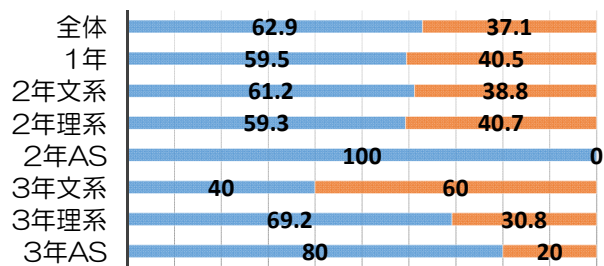
R01年度 保護者による天草高校SSH意識調査アンケート集計結果

Q1:天草高校がSSHの指定校であることを知っていますか



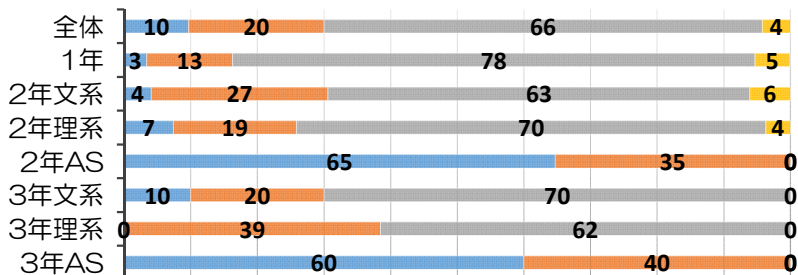
■ 知っている ■ 知らない

Q2:天草高校のSSH研究開発課題を知っていますか



■ 知っている ■ 知らない

Q3:今年度実施・参加したSSH事業をどの程度知っていますか



■ 70%以上 ■ 50%~70% ■ 1%~50% ■ 0%

Q1・2は、昨年度通り結果であった。

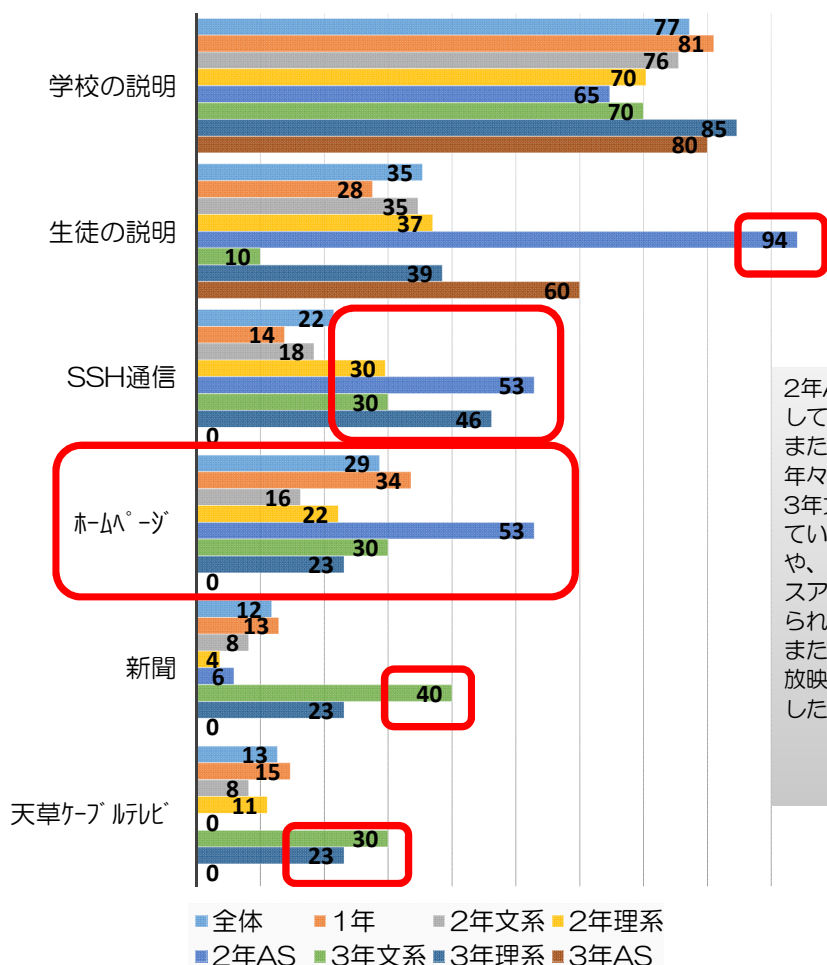
研究開発課題を「**地域を探究する**」「**多様な能力育成**」「**世界に飛躍する**」といった3つの項目に分けて発信を継続したいと思います。

また、2年ASクラスは、ほとんどのSSH事業に参加しますので、保護者の認知度も高くなっています。

アンケートにある項目を見て初めて知った事業も多かったかと思います。

気になるものは、ホームページで閲覧可能ですので、ぜひご覧ください。

Q4:天草高校のSSH事業を知ったきっかけは何ですか(※複数選択可)



■ 全体 ■ 1年 ■ 2年文系 ■ 2年理系 ■ 2年AS ■ 3年文系 ■ 3年理系 ■ 3年AS

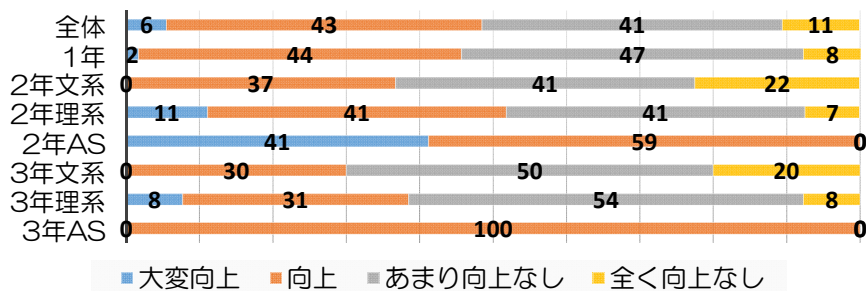
2年ASクラスの生徒が保護者の方に説明を、頻繁に行っていることが分かります。

また、SSH通信やホームページの更新も広報に、年々役立っている結果となりました。

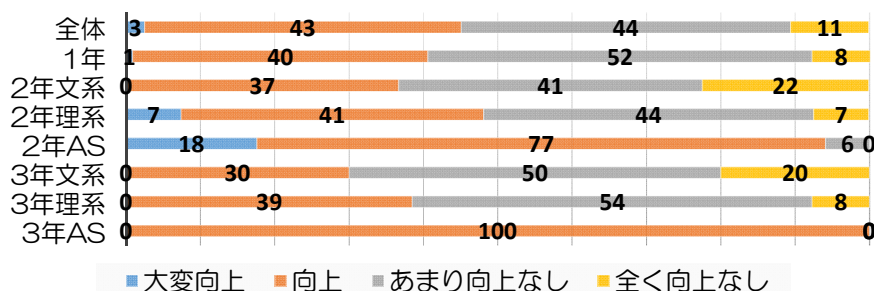
3年文系保護者の新聞記事に関する項目が大きく伸びています。今年度は科学部海水準班の世界大会進出や、研究成果発表会の地域への広報、天草サイエンスアカデミー、天草宝島起業塾等が大きく取り上げられました。

また、天草ケーブルテレビでは、研究成果発表会の放映の他に、世界大会の特別番組を放映して頂きました。

Q5:お子様の科学技術に対する興味・関心・意欲が増しましたか



Q6:お子様の科学技術に関する学習に対する意欲が増しましたか



Q5とQ6ともに、回答項目を変更しました。

「やや向上した」という回答項目を「あまり向上しなかった」に変更し、「効果がなかった」という回答項目を「全く向上しなかった」に変更しました。

SSH事業に多く参加している生徒は、保護者の方から見て科学技術に関する関心等が高まったと感じられるようです。

今後も、特別講演会や天高総合大学等、全ての生徒が体験できるプログラムを、よりよく構築していきたいと考えます。

Q7:天草高校SSH事業に求めること

理科や数学に割り当てが多い時間割

科学者や技術者の特別講義や講演会

大学や研究所、企業などでの体験学習

地域課題を解決するための課題研究

自然科学系コンテストへの参加

人文科学系コンテストへの参加

プレゼンテーション能力育成

英語で発表する能力を高める学習

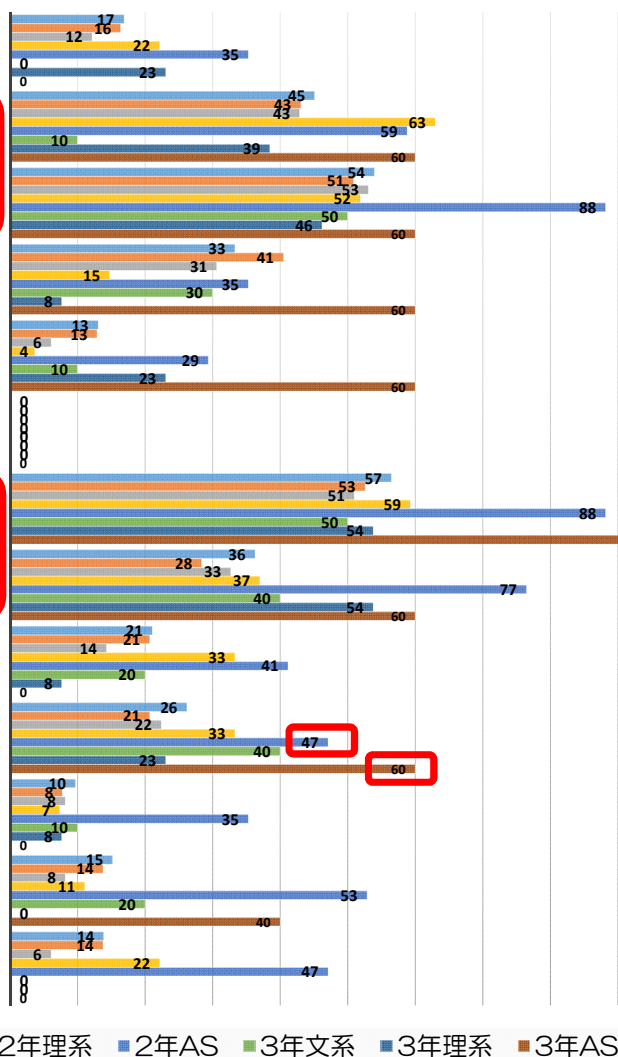
他校との交流

海外の生徒との交流

海外の生徒との共同研究

海外の大学や研究所などの訪問

国際学会やシンポジウムへの参加



少し見にくいグラフとなりましたが、講演会や体験学習、プレゼン力育成といった項目が、総じて求められていることがわかります。

これは、昨年同様の傾向です。

海外の生徒との交流は、マレーシア海外研修を行うASクラスだけでなく、3年文系保護者の数値も高くなっています。海外の生徒との交流は、土坪高校生徒とのSkype交流がありますので、今後も継続したいと思います。

回答の御協力ありがとうございました。